

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 03-162032

(43)Date of publication of application : 12.07.1991

(51)Int.Cl.

H04L 12/54

H04L 12/58

(21)Application number : 01-301694

(71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO
LTD

(22)Date of filing : 20.11.1989

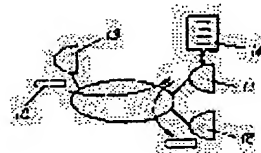
(72)Inventor : GUNJI YOSHINORI
YAMASHITA KUNIIKO
NISHIMOTO KAZUSHI

(54) MULTI-MEDIUM MAIL DISTRIBUTION METHOD

(57)Abstract:

PURPOSE: To send a composite mail even to a recipient not having a terminal equipment handling the composite mail by providing a terminal list with information of terminal equipment able to receive a composite mail unable to receive due to difference of media described thereon.

CONSTITUTION: When a mail 10 not distributed from a terminal equipment 13 to a terminal equipment 11 due to difference from media is sent, the terminal equipment 11 receives the mail 10 tentatively and references a terminal list 14. When a mail not received due to difference from the medium is sent to each reception terminal equipment connecting to the electronic mail system, the terminal list informs information name of all terminal equipments enabling the reception of the mail, medium of the mail to be handled and attribute or the like. Thus, the terminal equipment 11 transfers the mail 10 tentatively received to the terminal equipment 12 informed from the list 14, then the disabled distribution of the mail is avoided.



⑫ 公開特許公報(A)

平3-162032

⑬ Int. Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成3年(1991)7月12日

H 04 L 12/54
12/58

7830-5K H 04 L 11/20

1 0 1 B

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全3頁)

⑮ 発明の名称 マルチメディアメール配信方法

⑯ 特 願 平1-301694

⑰ 出 願 平1(1989)11月20日

⑱ 発 明 者	郡 司	嘉 規	大阪府門真市大字門真1006番地	松下電器産業株式会社内
⑱ 発 明 者	山 下	邦 彦	大阪府門真市大字門真1006番地	松下電器産業株式会社内
⑱ 発 明 者	西 本	一 志	大阪府門真市大字門真1006番地	松下電器産業株式会社内
⑲ 出 願 人	松下電器産業株式会社			大阪府門真市大字門真1006番地
⑳ 代 理 人	弁理士 栗野 重孝			外1名

明 細 書

1. 発明の名称

マルチメディアメール配信方法

2. 特許請求の範囲

(1) テキスト、音声、イメージなどの異種メディアのうち、単一あるいは複数のメディアからなる複合メールの発信が可能な送信端末と、前記送信端末が指定した受信端末ではメディアの違いにより受信できないメールを代わりに受信可能とする端末の情報が記載されている端末リストを参照できる、複数の受信端末と、メールの発配信を管理すると同時に、端末リストの参照も可能な電子メールセンタをもつ通信システムから構成される電子メールシステムにおいて、前記送信端末から前記受信端末へメディアの違いにより配信不能な単一のメディアからなるメールが発信されたとき、受信端末はそのメールを一時的に受け取り、端末リストを参照することで得られた他の端末へそのメールを転送することで、メールのメディアが異なる受信端末への配信不能を回避することを特徴

とするマルチメディアメール配信方法。

(2) テキスト、音声、イメージなどの異種メディアのうち、単一あるいは複数のメディアからなる複合メールの発信が可能な送信端末と、前記送信端末が指定した受信端末ではメディアの違いにより受信できないメールを代わりに受信可能とする端末の情報が記載されている端末リストを参照できる、複数の受信端末と、メールの発配信を管理すると同時に、端末リストの参照も可能な電子メールセンタをもつ通信システムから構成される電子メールシステムにおいて、送信端末から受信端末へメディアの違いにより配信不能な、複数のメディアからなる複合メールが発信されたとき、電子メールセンタがその複合メールを一時的に受け取り、端末リストを参照することによりその複合メールを個々のメディア毎に分割して個別のメールとして再構成した後、各メールを端末リストより得られたメディアを受信することができるとする端末へそれぞれ配信することで、メールのメディアが異なる受信端末への配信不能を回避することを特

図とするマルチメディアメール配信方法

(3) テキスト、音声、イメージなどの異種メディアのうち、単一あるいは複数のメディアからなる複合メールの発信が可能な送信端末と、前記送信端末が指定した受信端末ではメディアの違いにより受信できないメールを代わりに受信可能とする端末の情報が記載されている端末リストを参照できる。複数の受信端末と、メールの発配信を管理すると同時に、端末リストの参照も可能な電子メールセンタをもつ通信システムから構成される電子メールシステムにおいて、送信端末から受信端末へメディアの違いにより配信不能な、複数のメディアからなる複合メールが発信されたとき、受信端末はその複合メールを一時的に受け取り、端末リストを参照することによりその複合メールを個々のメディア毎に分割して個別のメールとして再構成した後、各メールを端末リストより得られたメディアを受信することができる端末へそれぞれ転送することで、メールのメディアが異なる受信端末への配信不能を回避することを特徴とする。

ルを扱える端末間でのみ送受信が可能で、複合メールを扱うことができない端末は受信不可能である。

本発明はこのような従来の問題点を解消するものであり、送信端末が相手受信端末の扱えるメールのメディアを意識することなく、多様な複合メールの配信が可能となる電子メールの配信方法を提供するものである。

課題を解決するための手段

上記の目的を達成するために本発明のマルチメディアメール配信方法は、電子メールシステム内に、送信端末が指定した受信端末ではメディアの違いにより受信できない複合メールをその受信端末の代わりに受信可能とする端末の情報を記載した端末リストを設け、電子メールセンタや受信端末がその端末リストを参照することによって、複合メールを個々のメディア毎に分割して個別のメールに再構成した後、各メールの配信または転送を行うものである。

作用

マルチメディアメール配信方法

3. 発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は、電子メールシステムにおける、マルチメディアメール配信方法に関するものである。

従来の技術

電子メールシステムは、送信者による電子メールの作成を援助して、完成したメールの発信を行う送信端末と、電子メールを受け取り、受信者へそのメールを提供する受信端末と、それらを結ぶ電気的な通信システムから構成され、送信者から1つ、または多数の受信者へ電子メールの発配信サービスを行うものである。この電子メールには、文書として使用されるテキストだけではなく、ファクシミリなどのイメージ、音声など多種のメディアが存在する。またこれらのメディアが混在する、複合メールと呼ばれる電子メールも存在する。

発明が解決しようとする課題

しかし、テキスト、音声、イメージなどの異種メディアが混在する複合メールは、その複合メー

本発明は上記した手段に従うことにより、例えば、複合メールを扱う端末から単一メディアしか扱えない複数の端末への複合メールの配信が可能になるなど、複合メールの配信不能の頻度を減らし、多様な複合メールの配信が可能となる。

実施例

第1図は、本発明の第1の実施例における、単一のメディアからなるメールが送信される場合の電子メールシステムの構成図を示す。

第1図において、端末13から端末11へメディアの違いにより配信できないメール10が送信された場合、端末11はメール10を一時的に受け取り、端末リスト14を参照する。この端末リストとは、電子メールシステムに接続されている各受信端末に対して、メディアの違いにより受信できないメールが送信されたとき、代わりにそのメールの受信を可能とする全ての端末の端末名、扱うことのできるメールのメディア、属性などの情報から構成されているものである。これにより、端末11は端末リスト14から得られた端末12

に対して、一時的に受け取っていたメール10の転送を行うことで、メールの配信不能を回避することができる。

ただし本実施例の場合、メールは単一のメディアのみで構成されているためメールの分割は行われない。

第2図は、本発明の第2の実施例における、複数のメディアからなる複合メールが送信されたとき、電子メールセンタがその複合メールの処理を行う場合の電子メールシステムの構成図を示す。

第2図において、端末24から端末21へメディアの違いにより配信できない複合メール20が送信された場合、電子メールセンタ25が複合メール20を一時的に受け取り、端末リスト26を参照する。これにより電子メールセンタ25は、端末リスト26から得られた端末21、22、23に対して、それらが扱えるメールのメディアを基に、一時的に受け取っていた複合メール20を個々のメディアに分割して個別のメールに再構成した後、各メールの配信を行う。これによって複

合メールの配信不能を回避することができる。

第3図は、本発明の第3の実施例における、複数のメディアからなる複合メールが送信されたとき、受信端末がその複合メールの処理を行う場合の電子メールシステムの構成図を示す。

第3図において、端末34から端末31へメディアの違いにより配信できない複合メール30が送信された場合、端末31は複合メール30を一時的に受け取り、端末リスト35を参照する。これにより端末31は、端末リスト35から得られた端末31、32、33に対して、それらが扱えるメールのメディアを基に、一時的に受け取っていた複合メール30を個々のメディアに分割して個別のメールに再構成した後、端末31が扱えるメディアのメールについてはそのまま配信を行い、他の各メールについてはそれぞれ転送を行う。これによって複合メールの配信不能を回避することができる。

発明の効果

上記で説明したように本発明のマルチメディア

メール配信方法は、複合メールを扱う端末を持っていない受信者に対しても、複合メールを送ることが可能になるなど、多様な複合メールの配信を与えることから、本発明を取り入れて構築する電子メールシステムは、従来の電子メールシステムと比較して、非常に柔軟で、かつ利用範囲が広がるものになる。

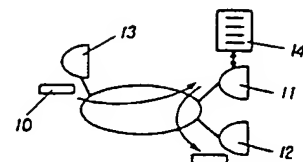
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の第1の実施例の電子メールシステムの構成図、第2図は本発明の第2の実施例の電子メールシステムの構成図、第3図は本発明の第3の実施例の電子メールシステムの構成図である。

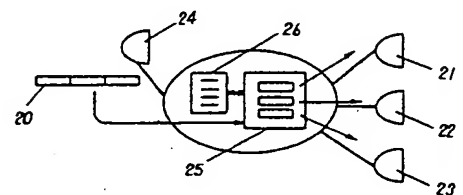
10…メール、11、12…受信端末、13…送信端末、14…端末リスト、20…複合メール、21、22、23…受信端末、24…送信端末、25…電子メールセンタ、26…端末リスト、30…複合メール、31、32、33…受信端末、34…送信端末、35…端末リスト。

代理人の氏名 弁理士 栗野重孝 ほか1名

第1図



第2図



第3図

